

4. 特攻ノ誘導ニ迷ミタル誘導機ノ報告ニ依  
ルハ戦場附近煙霧ノ為視度不良特攻ハ何  
レモ低空ヲ以テ接敵セルヲ通信モ亦日本機ノ低空  
ヨリス

0160

良特攻ハ何レモ低空ヲ以テ接敵セルガ故通信モ亦日本機ノ低空ヨリス  
ル攻撃ヲ受ケタル旨報シアルヲ以テ天象ヲ利用シ特攻母ヲ含ム敵有力艦  
船ノ急襲攻撃ニ成功セルモノト判断セラル  
五通信傍受ハ一部受信不能ノモノアリシヲ以テ此ノ外尙戦果大ナルベシ  
ト認めラル又第八飛行師團ノ攻撃時機稍々遅レ其ノ戦果ト認めラル  
モノハ本島ヨリ變良間方面ニ認めアリテ之ト重複シアラス。

(3)

73

4-24 TT60

⑥ 六航軍派遣通信隊

通 通 通 通

一 一 一 一  
七 六 六 六  
〇 九 八 八  
七 二 四 三

(五二〇〇) KC

佐 道

相村 尾澤  
村井 尾澤  
清水 尾澤  
木 尾澤

(杉本)

(M)

發 軍 參 謀 長  
通 電 先 次 官 聯 合 艦 隊  
二 十 二 日 戰 鬪 要 報 其 ノ 三  
一、二十一日午後ノ軍勢四次總攻撃ノ戦果ニ關シ其ノ後調査ノ結果敵通信  
傍受ノミニテモ左ノ戦果アリシコト判明セリ 擊沈二(内一空母ノ算  
大ナリ)大破二(内一空母ノ算アリ) 擊破二其ノ他損傷ヲ報セルモノ



東

通・聯合艦隊口

機密第二三三二一三五番電

五分ノ一、二、三、四、五

緊 急

六航軍派遣通信隊

74

方時 護名アルヲ示シ位置ハ日本機ノ機動部隊攻撃ト作  
 時 護名アルヲ示シ位置ハ日本機ノ機動部隊攻撃ト作  
 的地的ニシテ油庫ノ機動部隊攻撃ト作

8160

三 右傍受 (位置ハ知覺) リ細部在ハ如シ

(1) 一七三〇「ブランガ」 (空母ヲ算入) 日本機ノ突入ヲ報ジタル  
 後出系ニセ三日「ブランガ」ヲ代艦ヲ命ジアリ

(2) 一七四〇「スバルタン」 (艦種不詳) 活潑ナル通信ヲ呈シアルモ爾  
 後出系ニセ

(3) 一八三〇「デイジスベル」 (艦種不詳) 航行不能ヲ報ス

(4) 一八五七「カザリツツ」 (艦種不詳空母ノ算) 日本機一機命中ヲ報  
 ス

(5) 一九二八「ダイシベル」 (艦種不詳) 日本機一機  
 (6) 一九三六「タンタルス」 (B又ハCノ算大ナリ) 日本機ノ體當リ攻  
 撃ヲ受クト報ス

三 當時敵機動部隊ノ位置ハ大東島方面ニシテ右通信ニ依レバ沖繩運天港  
 ヲ基點トシテ日本機ノ位置ヲ示シアルヲ以テ名護灣方面ナルコト確實



軍機秘

機密第二三二二二二番電

海上護衛總部隊PT。指宿基地。佐伯空  
 大海參一部。天端作戰部隊

海軍總司令部第四五四號

○ 日本機動部隊飛行術要領中在ノ屬訂正ス

○ 機動部隊「東海護衛隊」

○ 機動部隊「先導」兩連スル如ク發進スル日施設探哨戒

○ 機動部隊「下哨區」

○ 機動部隊「基點」部并脚  
 ○ 機動部隊「機動部隊」九五一〇度一九〇度  
 ○ 機動部隊「機動部隊」九五一〇度一九〇度

機二五四五・二九九〇  
 天二日ケ八

(金 森)

76

75

0914 → 方護名アルヲ示シ位置ノ日本航ト基ヲ  
時ト撃攻隊動機ノ油ヲ示シ

四二四 受信開始 〇〇二二二〇 終了 〇二二三六 電報 二二八三九八 航作 本概 〇

緊急

喜界航空基地



● 第一機動基地航空部隊

● 串良、飯分第一各航空基地

機密第二三二二一〇〇番電 二分ノ二

午前二引續キ三十分乃至一時間ノ間隔ヲテ凡六凡八機一十六機ヲ以テ主トシテ飛行場及砲臺ヲ爆撃一部島内部落銃撃セル外常時島周邊哨戒セリ本日延七〇機(七回)ニシテ爆撃主トセル點例日ト異ル一七三〇以後天候雨トナリ敵來襲セズ

通 一四六七八 オ一五(三九三七五)KG(二KFG)放 星野(木) 下(一四六九一)

4-24 0914



通一四三七三 呂二〇七七(六七七) 佐二放 品田(雨谷)

戰果 驅逐艦一隻擊沈。  
射堡除ハ〇五〇〇中城灣ニ侵入セル敵艦艇ニ對シ襲撃ヲ決行セリ

沖根戰團速報第三三號

機密第二三一九二二番電

傍

天一號作戰部隊

沖根

至急

開始二二〇〇 了二二〇五 日一二八二四 作

79

三 戰果 擊破一機  
其被害飛行場被彈ニヨリ使用不能明日〇五〇〇迄ニ東西滑走路幅入〇  
長サ一二〇〇ノ復舊ノ見込 重傷一名  
四 明朝飛行場復舊次第第二五二空 彗星三零戰二田發射機ニシテ

78

4-23

作戰緊急

作

四二二二 譯始二二三二二

開丁二二〇一 電一二八〇〇 作 稿〇

- 一 一 根
- 大本營海軍部・一航空艦隊P

機密第二三一九一八番電

發 GF參謀長

宛 南方軍總參謀長

威參一電第四九四號關聯

「レイテ」方面偵察ニ關シ配慮ヲ深謝ス 「レイテ」灣ハ最近英太平洋艦隊ノ基地トナリシモノノ如ク敵次期作戰企圖判知上同方面ノ偵察ヲ要望セシモノニテ四月十九日ノ偵察ニテハ特ニ注意ヲ要スル程ノ在泊艦船ヲ認メザリシモ折々艦船集中狀況ヲ確メ度キ希望ナリ。

通一四五七二 呂一四七二 ( ) 菅原(土)

4-23

8160

緊急



◎第一機動基地航空部隊天作戰部隊戰團概報着信處所

◎總無線電所用共通符號

機密第二三一九一八番電

一 K F G B 天信電令作第二〇五號

三 機動基地航空部隊天兵力部署ニ左ヲ追加ス (部隊兵力) 指揮官

主要任務ノ順) 雷電部隊第三〇二航空隊第三三二航空隊 第三

五二航空隊雷電戰團機隊 西畑少佐敵機邀撃敵補助艦艇主トシ

テ大型機

通一四五八〇 呂一Bケ七(六七IC) 佐二放 大内(小野田)

開始二一四五

4-23

6160

四 一二三

開始二二五五

終了二二三三〇 電一二八〇四

△作 概〇

作戰緊急

共 符



● 第一潜水部隊（先遣部隊）  
 ● 大本營海軍部、聯合艦隊司令部、沖根、  
 東京通信隊、各鎮守府、十三航艦司令部。

機密第二三一九一五番電

先遣部隊電令作第六九號

一 呂號第四六潜水艦ハ二十五日朝迄奄美群島南東方海面ニ出現セル

敵機動部隊ノ捕捉攻撃ニ努メタル後吳經由舞鶴ニ歸投スベシ

二 呂號第五十潜水艦ハ奄美群島南東方海面同群島ヨリ概ネ二〇〇哩

以內ノ海域ニ機宜行動主トシテ敵機動部隊ノ捕捉攻撃ニ任ズベシ。

通一四五八二 呂一Bケ七（五二九五）六F口 山中（矢野）



4-23

0920

至  
急

開始二三〇五

了二三五三

電自一二八五四

航作  
本概〇

第六航軍派遣通信隊

聯合艦隊  
大 海・天一號作戰部隊

作

機密第二三一七二七番電

四分ノ一、二、三、四

六航軍戰術概報ノ二十二日第四次總攻撃  
一、海軍航空部隊ノ敵機動部隊ノ攻撃ニ策應沖繩敵艦隊攻撃ノ爲特別攻

撃隊三九機一内三機國分及徳之島ニ不時着(五群ニ分レテ一四四〇  
ヨリ逐次知覽發列島線西側ヲ進軍當時鳥島以南視界極ノテ狭小ナリ  
シヲ以テ超低空ヲ以テ進入一七三〇・一九三〇ノ間概ネ全機突入セ  
ルモノト判斷ス四ヶ群突入ノ無線報告他ノ一群ハ鳥島附近ヲ南下中  
ヲ偵察視認ス)

通達  
一四五九五・一四五九九 呂一E七(六七)KC(佐二放 半澤一藤田)  
一四六〇三・一四六〇二

三 飛行第五五・五九戰隊三式戰十八機ヲ以テ喜界島附近百飛行團四式  
 戰二十一機ヲ以テ德之島附近迄

三 二十日喜界島上躍進セシノ雷キダル四式戰六機ヲ以テ沖繩上空迄攻  
 撃隊ノ推進ニ任ズ沖繩附近ニテタラマンノ十數機ノ編隊ト二回遭遇  
 セルモ敵ノ回避ニヨリ交戦スルニ至ラズ未歸還三機

三 敵信傍受情況一七三〇 PLUNGER 空母ト判定 一七四〇 SP  
 ARTAN 被攻撃後出系セズ一八三〇 DIZZY SPBELニテ損傷  
 ナ報ス一八五〇 CULPRIT 空母ト判定 一九三六 TANTA  
 LUSHEXハC 一九二八 DAISY BEL 各一機命中ト報ス  
 二 一機撃墜ト報ス  
 四 B 一九來襲ニ依ル機材ノ損害ナシ。

緊急

共

符



先遣部隊

機密第二三一七二三番電

二分ノ一、二

先遣部隊綜合情報第七〇號

一 沖繩陸上戦況昨日ニ同ジク午前來襲機延一〇五機

二 沖繩島周邊一四三〇嘉手納沖B三〇一D四T多數其ノ他不詳視界七  
 湮

三 捕虜ノ言ニ依レバ二十三日〇七〇五宮古島ノ一五〇度一〇〇湮ニ特

空母四隻驅逐艦五隻ヨリ成ル機動部隊ヲ群海弋中一四三〇石垣島二

五機〇六〇〇喜界島八機艦上機來襲セリ

四 第四次航空總攻撃戰果嘉手納沖火柱三二發上一機發一中城灣大火災  
 通一四五三四・一四五三五 呂一Eケ七(五二九五)六F(六)クスモト(藤田)

4-23

三 湊川一 慶良間列島東方火村二〇 炎上一北中飛行場火災一 其ノ他  
未詳

五 敵ハ十九日頃ミンダオ島西岸コタバトニ戦艦二隻巡洋艦九隻驅逐  
艦五隻輸送船三八隻ヲ以テ上陸ヲ開始セリ

六 捕虜ノ言ニ依レバマリアナ方面日一二九 六五〇機内實動機數四五  
〇機

四 一二三 開始二一〇四五 了二一四〇 電一二七六七 作 概〇

至 急



● 天一號作戰部隊  
● 大本營海軍部

● 六航軍派遣通信隊

機密第二三一七一三番電

球情報(二十二日)

一〇八〇〇 湊川沖 C一 D 其ノ他六中城灣 C二 D二 W四 嘉手納  
沖渡霧ノ爲不明

三 敵機來襲情況〇八〇〇 一二〇〇ノ間延一二五機單機又ハ二。三機編  
隊ノモノ多シ首里基點二四〇度方向ヨリ侵入一二〇度方向ニ脱去。

通一四五五五 呂一Bケ七(六七C) 佐二放 半澤(土 谷)

◎新村航空基地

作戰緊急



◎新竹航空基地

第五基地航空部隊作戰命令着信箇所

機密第二三一六五二番電

二分ノ一、二

五FOD電令作第九九號

一營部隊ハ五日(二十六日ノ豫定)ヲ期シ機作戦ヲ實施セントス

ニ石垣基地零戰隊偵察隊及水爆隊ハ明二十四日左ニ依リ準備索敵(機

進時刻指揮官所定)ヲ實施スベシ

(イ)零戰二機石垣ノ八〇度至一二〇度一六〇度圈内

(ロ)彩雲一機三貂角ノ一二〇度至一二〇度三二〇度左折二五度一六〇度左折二九

〇度一二〇度

(ハ)零水一機夜間探敵索敵線後令

三前項及別令ニ依ル第二陸攻隊沖繩方面飛行場攻撃ノ外各隊ハ二十四

日二十三日兩日ニ依ル作戦ヲ中止シ主力整備ニ努ムベシ五日ノ作戦

第一四八二、一四八三、一四八四(三七八二五〇)五FOD旅菅原、未松(雨谷)

Handwritten signature or initials.







4-23

鹿屋航空基地



第一機動基地航空部隊天作戦部隊作戦命令着信艦所

機密第二三一四二番電

鹿屋航空基地

一 K F G B 天信電令作第二〇二號

昨二十二日當隊ノ K D B 攻撃ニ策應シ沖繩周邊敵艦船ヲ攻撃セリ第六航空軍特攻隊ハ突入ニ成功敵ニ甚大ナル損害ヲ與ヘタリ本作戦決勝ノ鍵ハ今後ニ於ケル各隊ノ殊死奮戦ニ在リ各隊ハ極力作戦可動兵力ヲ増強連續戦強ナル攻撃ノ持續ニ努ムベシ。

通一四四四九 呂一Eケ七(七八七五 KC) 一 K F G B 清水(福田)

90

長謀參隊海軍

軍極秘

通商先

次長 (新編) 球威 支隊 (新編) 西軍 (靖) 年 (皇) 登波司

臺灣情報第三一五號

四月二十三日 宮古ニテ

所屬機動部隊ハ二十三日九時宮古基點一六七度一五〇軒商船改造空母

四隻「サンガナン」「セズテン」「タンテ」「ナナン」「基幹」  
三乃至五

各空母共搭載機三〇機ニシテ「F六E」「一八機」「BBE」「一二機」

日本軍ノ攻艦ヲ未ダ受ケザル爲直掩機少數ニシテ專ラ警戒及船團掩護

ヲ目的トシテ連續攻撃ヲ實施セリ

三 特攻對策ハ特別ニ應慮シアラザルモノノ如ク甲板上ニ迷彩シアラヌ「

(小標)

長謀參隊海軍

4-24

四 二四 受信 二一〇三〇一 譯了 二一五〇 電一 三二四二 作概〇  
航本

作戦緊急

● 砲 艦 空 基 地

● 第一機動基地航空部隊天作戦部隊作戦命令着信機所

12

機密 第二四一八五六番電

一 K P O B 天無電合作第二一四號

一 B I 二九來襲頻度ノ統計ニ依レバ 明二十五日大舉來襲ノ算大ナリ  
九州方面警戒ノ要アリ

二 各隊ハ 邀撃放ニ被寄局限應急通信等ニ關シ 萬遺憾ナキヲ期スベシ

通 一五〇五二 口一Bケ七 (三九三七・五三〇) 一五P〇B放

中田(鈴三)

92

4-24

◎ 沖縄方面特根

發 聯合艦隊參謀

球參情電第五八六號

機密第二四一二一五番電

空母ニニ隨伴セル「B」又ハ「O」五「ハ」南端見張所（機密第二四〇八

三〇番電）ノ如ク「O」ニ「D」三「ト」解スルヲ可ト認ム。

通一五〇五〇 呂一Bケ七（四九一五K）佐二放 小森（機 澤）

機密第二四一八三三番電



緊 急

◎ 天 一 號 作 戰 部 隊

◎ 沖 繩 方 面 特 根

93